

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 5 区分
【発行日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)

【公開番号】特開 2004-276905 (P2004-276905A)
【公開日】平成 16 年 10 月 7 日 (2004.10.7)
【年通号数】公開・登録公報 2004-039
【出願番号】特願 2003-359873 (P2003-359873)
【国際特許分類】

B 6 0 R 13/02 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 13/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 17 日 (2006.10.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

トリムストリップを車両ボディに固定するためのクリップにおいて、

第 1 の部分と第 2 の部分とを有しており、

前記第 1 の部分が、該第 1 の部分の第 1 の側から第 2 の側まで延びた、互いに間隔を置きながら横方向に延びた第 1 の溝及び第 2 の溝を有しており、該第 1 の溝及び第 2 の溝がそれぞれ実質的にその長さに亘って歯を有しており、

前記第 1 の部分がさらに、第 1 の部分の第 1 の側から第 2 の側まで、第 1 の溝及び第 2 の溝に対して平行に、第 1 の溝と第 2 の溝との間に延びた開口を有しており、

前記第 1 の部分がさらに、車両ボディと相互作用するように構成された舌片装置と、

トリムストリップに取り付けられた対応するフランジ装置と係合するように構成されたフランジ装置とを有しており、

前記第 2 の部分が、中央開口を有するボディ部分を有しており、前記開口が、車両の T 字形スタッドと係合するように構成されており、

前記第 2 の部分がさらに、前記ボディ部分の第 1 の側から第 2 の側まで延びた、互いに間隔を置いて配置された第 1 の延長部及び第 2 の延長部を有しており、該第 1 の延長部及び第 2 の延長部の寸法が実質的に第 1 の溝及び第 2 の溝の寸法に相当し、前記第 1 の延長部及び第 2 の延長部が、その長さに沿って、第 1 の溝及び第 2 の溝の歯に対して相補的であつて対応する歯を有しており、

前記ボディ部分が第 1 の部分の側部における開口を通じて受容され、これにより、第 1 の延長部及び第 2 の延長部が第 1 の溝及び第 2 の溝のうちの対応する溝に受容され、第 1 の部分と第 2 の部分との相対移動を許容するように第 2 の部分が第 1 の部分内に摺動可能に連結されており、

第 1 の延長部及び第 2 の延長部の歯が、第 1 の溝及び第 2 の溝の歯に対して係合するように構成されており、これにより、相対移動が、一方向でのみ、T 字形スタッドに対する舌片装置の位置の調整を許容しかつその後前記位置を維持するようになっており、これにより、舌片装置が、(a) 第 2 の部分が T 字形スタッドに固定されかつ (b) 第 1 の部分が、舌片装置を車両ボディに位置決めするために第 2 の部分に対して移動させられた後、車両ボディに接触させられることを特徴とする、トリムストリップを車両ボディに固定するためのクリップ。

【請求項 2】

前記第 1 の部分の前記フランジ装置が、前記トリムストリップの前記フランジ装置の相補的な歯と係合する歯を有している、請求項 1 記載のクリップ。

【請求項 3】

前記フランジ装置がそれぞれ、第 1 のフランジ区分及び第 2 のフランジ区分を有している、請求項 1 記載のクリップ。

【請求項 4】

前記舌片装置が、第 1 の舌片区分及び第 2 の舌片区分を有している、請求項 1 記載のクリップ。

【請求項 5】

前記第 1 のボディ部分がさらに、車両ボディと相互作用する安定化装置を有している、請求項 1 記載のクリップ。

【請求項 6】

前記安定化装置が第 1 の延長部及び第 2 の延長部を有している、請求項 5 記載のクリップ。

【請求項 7】

第 2 の部分のボディ部分がさらに、ストッパと、肩区分とを有し、T 字形スタッドが中央開口に収容されており、ストッパによって肩区分と係合して保持されている、請求項 1 記載のクリップ。